

ひのたにえん

Aさんの居場所

副園長 森嶋友里子

猛暑の時期、ひのたに園に入所された高齢のAさんが、「いろいろあって」ひのたに園を出て日野町での生活を始めることになりました。そのAさんから「ホントは仕事をしたいけど、トシで仕事もないから、体も動かさんと鈍る。ひのたに園に行きたいです」と申し出があったときには、意外な言葉に少々驚き、すこしうれしく思いました。そしてAさんは、ひのたに園がこれまで活動として行っている、近所の方から借り受けた畑での農作業や、農作業がない日には施設内の雑草引きなどをして過ごされ、作業後には昼食を食べてから帰る生活を始められました。

(10/25現在) カラオケやお風呂などの活動を勧めてみたりもしましたが「働いてメシを食う」と言われ作業がある時のみ来園されています。「いろいろあって」ひのたに園での暮らしが難しかったけれど、ご自身で「働いてメシを食う」居場所としてひのたに園を選ばれ、その人の目的や必要に応じた過ごし方を受け止めていく、そういう過ごし方があっていいと感じました。また、Aさんの他にもひのたに園を退所された年金生活者の方が、日中の数時間をひのたに園に来て過ごされるようにもなっています。これまで当園は、地域での生活に支障を抱えた人たちの再出発を支える役割を担ってきていましたが、加えて、ひのたに園を経て地域（日野町）で暮らしている人たちが居場所として過ごせる「場」や「機会」を提供できることを始めています。少し大げさに言えば、地域の居場所としての一歩が始まっているといえるのかもしれませんが。



HINOTANI EVENT

納涼祭

今年もひのたに園では暑い夏を乗り切るために納涼祭を開催いたしました。昼の部、夜の部に分け模擬店、ビンゴ大会、アトラクションなど様々な催し物を行いました。昼食にはサイコロステーキを用意し、利用者の皆さんにも焼いているところが見れるように鉄板を配置し提供できるようにしました。目の前で焼かれるステーキで心もお腹も満たされました。夜の部ではグラウンドでキャンプファイヤーを実施し、皆さんで火を囲み焼きマシュマロを楽しみつつゆったりとした時間を過ごしました。(玉木)



運動会

今年の運動会も雨!!そのため、室内での運動会となりました。しかし、ひのたに園の運動会は室内でも大盛り上がりです。利用者、職員と混じり合い、赤組、白組とに別れたの対決。パン食い競争、デカパン競争、玉入れ、綱引きと、真剣に楽しく取り組んでいました。勝てば喜び、負ければ悔しがり、そしてお互いを応援し合い…これぞ“大人の運動会”です。準備から片付けまで、みんなで運動会を楽しむことができました。ちなみに今年は白組が勝ちました!(村上)



文化祭

11月7日文化祭を開催し、利用者の皆さんに食事、展示、イベントなど多方面で秋の楽しみを感じて頂きました。お昼はお寿司と天ぷらと茶碗蒸しで和の雰囲気を楽しんでいただき、展示では創作活動の作品をひのたに園のいろいろな場所に飾って皆さんに鑑賞していただきました。メインのイベントでは、ひのたにフレンドパークと題して、7つのゲームをめぐり、最後に豪華景品獲得を目指してダーツに挑戦していただきました。みなさん、昔テレビで見っていた東京フレンドパークを思い出しながら、満喫しておられました。(北岸)



澤井さん(73)



「こんでええか？」と言いな
がらビシッと
きめて下さる
澤井さん

いつも穏やかで、持ち前のおやじギャクで沢山の人を笑顔にして下さる澤井さんに今までの話を聞きました。

>澤井さんの出身地を教えてください。
大阪府東大阪。

「あぶく銭はあかん。
一生懸命働かなあかん。」

>今までどのようなことをされてきましたか？
中学の時はラグビーをしてたな。自分の家の近くにラグビー場があったから、小さいころからそこで遊んでたからな〜。
中学のラグビー部は強かったから近畿大会優勝とかしてたんや。それで俺も推薦で他県の強豪校に行く約束があったんやけど俺よりも体の大きいやつがおって、「その人が入るからもう来なくていい」って…。ここが人生のターニングポイントやったような気がするな。

>高校卒業後は何をされておりましたか？
遊んだり日本一周なんかもしてた時があるけど、27歳から喫茶店のマスターしてた。店開くために借金したから3年間休みなし、お盆・正月関係なく働いてたな。頑張ってたから借金も返せた。あとマスターしてる時に競馬で300万勝ったことあるんやで！

>300万円！？何に使われたんですか？
100万は一晩で飲みに使ったわ、お客さんに競馬券買ってきてもらってたから俺が勝ったの分かるし。そんで買ってきてくれた客には1割渡す約束してたから30万円渡した。あいつが一番得しとるな〜。そんで残りの170万は、何に使ったかわからん。やっぱりあぶく銭はあかん、一生懸命働かんとな。

>日本一周はどうでしたか？
寝袋1つで電車に乗って一周したな。行った場所でアルバイトとかしたり。沖縄はそんな時はまだパスポートがなかったから、行けんかったわ〜。
全国津々浦々行った所なら、どんなところやったか今でも覚えてるで〜。
(聞き手・文 村上、藤井)

人生いろいろ

2度目の人生いろいろのインタビューを快諾してくださった河部さん。前回聞けなかった仕事の話や趣味のことについてお聞きしました。

>河部さんは事務員でずっと働いておられたんですね。どんな内容だったのですか。
お給料とか、八坂自動車っていうタクシーのとこやさかい、朝に釣り銭のかばんみたいなのがあって、5,6000円入れとくんですわ。かえってきはったときは、メーターがあがるさかい、それのお金の勘定したりしてましたね。

>今みたいにパソコンないですよ、
どうやってたんですか。

そろばん。計算機もなかったさかいね。
そろばんで一応2級もってました。

「計算機もなかったさかいね。
そろばんで一応2級もってました」

>2級！なかなかですね。事務員の仕事の中で、大変だなと思ったことはありますか。
やっぱりおかねあつかうさかいに、それは緊張してたみたいで。その時は男の職業やから男の人ばかりでしょ。女の職員言うたら、事務員10人ほどやったわ。

>仕事も忙しかったと思うのですが、何か趣味もあつたんですか。
趣味はお料理。結婚する前に料理学校行ってね、みんなお母さんがしてくれてたからわからへんさかい、料理学校行ったりしてたんですわ。八宝菜でしょ、ピフテキ、おでん、白菜煮たりして、肉じゃがとかもつくってましたよ。仕事帰ってから作ってたわ。

>料理得意なんですね。その経験が活かしたことはありましたか。
妹が喫茶店してて、ちょっと働いてて調理もしてた。チャーハンとか、オムレツとか、お寿司とかそんなも作れるし。「おねえちゃんてつだって」言われて、やってたんやわ。事務員辞めてそこではたらいてたんやわ。

(聞き手・文 北岸)

河部利美さん (76)



「5年前載った時は
何話したかな」
と河部さん

本人希望のためイラストにしています

ギャラリーショップ

令和6年8月にギャラリーショップをオープンし、毎週火曜日
につどえばにて、利用者の方が制作された陶芸作品を販売・展示
しています。この陶芸活動は、月に2回「アトリエセラミカ」と
いう名称で制作活動をし、平成30年からひとつひとつ利用者の
方それぞれに思いを込めて作られてきました。

アトリエセラミカは、利用者の方一人ひとりの表現を大切に
し、これといったテーマは決めず、日々の生活からインスピレー
ションを受けた作品、自身の空想の世界の作品、生活のなかで使
うための実用的な作品など、様々な作品を制作されています。

(川島)

ひのたに音楽フェス

ひのたに夏フェスで心が通いあった。

9月8日。夏か？と言われる時期、小佐治すいりょう太鼓、かぶりっちょ音楽隊を
お招きして、ひのたに太鼓青龍とともに、表題のイベントを開催しました。

「かぶりっちょ音楽隊」は、社会福祉法人グロリー職員有志でたちあがった音楽サーク
ルです。私もそのサークルの一員です。かぶりっちょは、イタリア語で「きまぐれ」
や「形にとらわれない」という意味を持ちます。まさに、この音楽隊は気まぐれで、
形にとらわれません。弾きたい楽器を弾き、出たい本番に登場します。練習のドタキ
ャンもありあり。そんな、かぶりっちょな演奏後、一人の利用者さんが私に駆け寄っ
てきて「この曲、好きなんですよお。感動しましたあ」と、その表情と声のトーンに私も涙目になっちゃって、なんだか心が通じた気がしました。やはり、音楽っていいですね。

かぶりっちょ音楽隊もひのたに太鼓青龍も出張演奏先を募集しています！(齋藤)

つどえば
干滋賀県蒲生郡
日野町松尾1507-1

時々あぐりひのたにの
野菜も販売しています！



最近のひのたに園

